

賓陽塾の開講式と最近の研修状況

研究調整監 尾坂 康

昨年度から当増養殖研究所浅海環境部で漁業後継者育成対策事業として賓陽塾を開設しました。昨年度は17名の塾生が入所し、6名が修了しました。昨年に引き続き、本年度も塾生を募集したところ、地元の平内町を中心に15名が集まりました。遠くは深浦漁協から応募がありました。また、都合の良い日時を選択して受講できる聴講生として15名の応募があり、平成20年度の「賓陽塾」の受講生は30名となりました。

開講式

開講式は、5月14日(水)の午後1時30分、県から坪田水産局長等と業界から平内町、野辺地町、深浦町の各漁協長等のご出席を頂き、水産局長の挨拶、平野増養殖研究所長から歓迎の挨拶がありました。終了後に、出席者全員で賓陽塾の玄関前で記念撮影を行いました。

最近の研修状況

午前は、浅海環境部の吉田研究管理員と小笠原技師により、漁業に関する基礎講座、漁業実習として、基本的なロープワークと籠漁業を行っています。午後からは、当増養殖研究所の研究職員が専門とする最先端の調査事業の講座を交代で1時間、その後は、ロープワークの復習や漁具の製作、沿岸実習として茂浦地先と地先において籠・さし網実習を行っています。

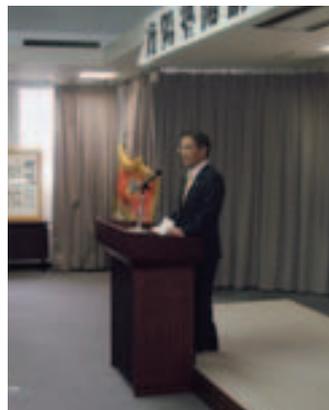
今後6月中旬からは、水産局水産振興課、水産総研センター、青森海上保安部等外部からの講義を予定しており、最近の漁業に関するトピックスや、漁業全般の基礎知識、また専門的な内容の講義を行うこととしています。今後とも皆様の応援をよろしくお願いします。



出席者全員による記念写真



坪田水産局長の挨拶



平野所長の挨拶



漁業実習（籠漁法）



講義風景